

# これからの予定

研修事業

## 1 がん患者と家族のためのサポーター養成講座

宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託事業

2024年2月18日(日) 13時~16時 会場: 宮崎市民プラザ 大会議室

テーマ: 「がんと上手に付き合うには」  
講師: 石川 智信 氏 (医療法人社団三友会 理事長)  
グループワーク: 「大切な人ががんと診断されたら」  
コーディネーター: 板井 孝吉郎 氏 (宮崎大学医学部 教授)  
どなたでも参加できます。  
お申込フォームもしくはお電話にてお申し込みください。



申込フォーム



石川 智信 先生



板井 孝吉郎 先生

相談事業

## 1 ふらっとカフェ ~がん相談~

宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託

実施日時: 毎月第2水曜日 13:30~16:00  
場所: 県立宮崎病院 会議室 (がん拠点病院)

## 2 陽だまりカフェ ~認知症・認知症予防相談~

宮崎市認知症カフェ運営支援事業

実施日時: 毎月第1月曜日、第4土曜日 13:00~15:00  
場所: 暮らしの保健室

## 3 お薬相談カフェ ~服薬、健康相談~

休眠預金活用事業

実施日時: 毎月第2・第4月曜日 11:00~12:00  
場所: HALEたちばな 1F「カフェ遊椿」

## 4 在宅療養でんわ相談

令和5年度 宮崎市在宅療養相談事業

実施日時: 平日10時~17時  
専用電話: 0985-67-5003

# マンスリーサポーター

「かあさんの家」の環境整備などに活用させていただく目的で、昨年の夏に「マンスリーサポーター」の募集キャンペーンを実施しました。マンスリーサポーターとは、毎月定額のご寄付によって活動を支援していただく方々のことです。多くの方にご賛同いただき、毎月50人のサポーターの方から総額10万円ほどのご寄付をいただいております。ここでご紹介させていただいた例以外にも、移乗マットやサーキュレーターご購入、壊れた保温ポットの買い替え、汚れた壁紙の張り替えなど様々な環境整備に活用させていただいています。サポーターの皆様、本当にありがとうございます。



【2023年10月】かあさんの家・曾師のカーペットが防炎でなかったためフローリングに改修しました。



【2023年11月】かあさんの家・月見ヶ丘のエアコンが壊れてしまい修理をしました。



【2024年1月】かあさんの家・曾師の台所の水栓が壊れてしまい新しく付け替えました。

# ご支援に感謝いたします

日頃より多くの皆様からのご支援感謝申し上げます。これからも皆様のお声に耳を傾けながら、地域に根差した活動に取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 2023年8月1日~2023年12月31日までに寄付をいただいた皆様

- ・松元 則子 様・小濱 智代子 様・名田 敏仁 様・崎田 健心 様・泉 摩依 様・岩切 洋 様・野村 拓馬 様・土井 裕子 様・高橋 好香 様・市原 美宏 様・小佐々 正伸 様
- ・山内 研二 様・原田 織枝 様・飯島 恵子 様・勢井 由美子 様・中村 美佐子 様・高田 芳枝 様・山口 一誠 様・早川 理恵 様・松本 京子 様・江口 昌文 様・安部 五月 様
- ・山口 ひろ子 様・松山 なつむ 様・岡本 峰子 様・ラウーセン いつみ 様・千田 美保子 様・井上 由起子 様・新城 拓也 様・山下 理恵 様・藤木 啓 様・遠藤 太二郎 様
- ・日高 安子 様・齋藤 正洋 様・山口 みつよ 様・本木 孝明 様・吉川 厚子 様・平田 温 様・松崎 泰憲 様・本部 和彦 様・成合 昌子 様・原田 順子 様・上村 千代子 様
- ・天野 良平 様・武田 俊彦 様・株式会社大進建設 佐田 正博 様・美馬 達夫 様・鬼村 智子 様・内田 保寛 様・濱中 供子 様・鈴鹿 悦子 様・日高 洋明 様・重満 卓子 様
- ・野波 俊子 様・牧山 友子 様・保坂 幸男 様・いしかわ内科 様・河野 加代子 様・小田 敏子 様・渡部 浩二 様・西川 良子 様・宇都 仁恵 様・近藤 伸子 様・坂下 政子 様
- ・日高 雅仁 様・医療法人カーサミアやまおか在宅クリニック 山岡 憲夫 様・天達 洋子 様・武田 敏子 様・皆森 信子 様・松浦 ミキコ 様・愛甲 保子 様・矢野 伸子 様
- ・宮園 医院 様・阿萬 スミ子 様・医療法人愛楓会 くらぎ整形外科 様・塩田 幸代 様・滝 真理子 様・医療法人社団わかば小児歯科 理事長 旭爪 伸二 様・稲葉 厚子 様
- ・大山 さよ子 様・前田 せつ子 様・塩田 充恵 様・高島 真理子 様・小川 久子 様・矢野 英子 様・小松 美海 様・橋口 昌恵 様・藤澤りつクリニック 山本美和 様

◎ 賛助会費もご寄付としております。上記は、お名前表示をご許可いただいている皆様です。そのほか匿名希望を含む104名の方からご寄付をいただきました。お名前の掲載許可が確認できましたら次回のニュースレターでご紹介いたします。

※ホームホスピス宮崎は、認定NPO法人です。認定NPO法人へのご寄付は、寄付者が税制上の優遇措置(約40%相当額の所得控除または税額控除)を受けられます。また、相続や遺贈による財産をご寄付いただいた場合は、その全額が非課税となります。

## 【会費納入・ご寄付の方法】

- 《銀行振込》 宮崎銀行 宮崎支店 普通 1634770  
口座名義: 認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎 理事長 市原美穂
- 《郵便振替》 口座番号: 01700-1-88730  
加入者名: NPO法人ホームホスピス宮崎
- 《クレジットカード》 QRコードを読み取り、ホームページからの手続きとなります。マンスリーサポートや毎年の会費自動引き落としができます。



寄付のページ



# HHMにゆーす

『HHMにゆーす』は、ホームホスピス宮崎の新しい動きや情報、ボランティア活動のあれこれをお伝えします。

## どんな障害があっても当たり前前の暮らしがあたりまえになるように

**新**年あけましておめでとうございます。年が明けて元旦の夜に起こった能登半島地震のニュースは衝撃的でした。

『津波が来ます。逃げて!』と叫ぶようなアナウンサーの声に、緊迫した空気が伝わりました。そして、翌日の夕方には、羽田空港で旅客機が着陸直後に炎上する映像が飛び込んできました。乗客・乗員全員が脱出できたとの報に奇跡だと思いました。

いつもの年始の様子や暮らしが、一瞬にして破壊された災害や事故は、いつわが身に起こっても不思議ではありません。能登半島は、高齢化、過疎化が最先端で進んでいる地域です。このような地域で起こった災害が、これからの日本社会がどうあるべきなのか示唆しているように思えます。合理的で効率を求めてきた社会から、医療・福祉、防災など、私たちの暮らしが豊かになる社会にと、シフトしていかなければならないのではと思います。

ホームホスピス宮崎は、1998年、『宮崎市郡医師会病院に緩和ケア病棟をつくってください』という運動からスタートし、設立から四半世紀が過ぎました。住み慣れた地域で最後まで暮らしたいというaging in placeの方向を目指すものが、いわゆる「地域包括ケアシステム」の構築です。これを地域で実践し発信していくのがホームホスピス宮崎の活動だと考えています。

2004年、自宅ではないけど「もう一つの家」で最後まで暮らせる場所があったらいいなと「かあさんの家」を始めました。これまでに旅立たれた方は156名、同時に156話の物語があります。ご遺族の『実家の跡地を役立てて欲しい』という申し出に、2021年、街のど真ん中に「HALEたちばな」が誕生しました。2年目になりますが、「みつばち診療所」も、医療的ケア児を対象とした短期入所「leilei」、日中一時支援「ohana」も、コミュニティカフェ「遊椿」もまだまだ発展途上です。

訪問看護は、障害があっても重病であってもその人の暮らしを支えるのが前提です。ですから短期入所「leilei」は、訪問看護が主体の福祉共生型でなければとスタートしました。しかし運営は厳しいので、いまだ日本では、福祉型で医療的ケア児を受け入れると標榜している事業所は、「leilei」を含め数ヶ所にとどまっています。

短期入所「leilei」の利用者は、日中一時支援「ohana」も利用していますが、日中一時支援の対象者は18歳未満の方です。18歳になると利用できるサービスが切り替わります。これから必要なことは、18歳を過ぎ、成人になっても当たり前前に生活できる、切れ目のない支援体制です。まだ制度が追いついていないのですが、0歳から100歳までの切れ目のない福祉型の支援体制のモデルを創るのが本年度の目標です。

これまでの取り組みを振り返ると、制度の隙間からこぼれるニーズを、「あったらいいな」と支援のカタチを模索してきたプロセスでした。まさに、合理的や効率、採算性とはかけ離れていて、運営はいつも赤字の状態が続きました。それでも、「必要なんだよね」と愚直にやってこられたのは、多くの方々からの寄付や励ましに支えられているのだと痛切に感じています。

今年も、どんな障害があっても当たり前前の暮らしがあたりまえになるように、ひたすら愚直に一歩ずつ歩んでいきたいと思います。本年も、ホームホスピス宮崎に一層の応援とご支援をいただきますようお願い申し上げます。年の初めに、一年が皆様にとって多くの幸せが積もる日々となりますように。



認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎 理事長 市原美穂



かあさんの家・曾師のお正月料理(おせち)です。食べることでできる方は少ないのですが、お正月気分を味わっていただけたかなと思います。暮らしの中での季節の行事を大事にしていきたいと思っています。

## HALEたちばな

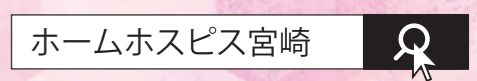
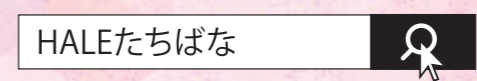
- 【住所】 〒880-0805 宮崎市橋通東3丁目1-31
- 【TEL】 0985-41-8980
- 【FAX】 0985-41-5480
- 【メール】 tachibana@npo-hhm.jp
- 【HP】 https://hale-tachibana.jp/
- 【FB】 facebook.com/tachibana.east3/

## みつばち診療所 (HALEたちばな1階)

- 【TEL】 0985-41-8938
- 【FAX】 0985-41-9800
- 【メール】 mitsubachi@npo-hhm.jp

## 認定NPO法人 ホームホスピス宮崎 本部 (事務局)

- 【住所】 〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6
- 【TEL】 0985-53-6056
- 【FAX】 0985-53-6054
- 【メール】 office@npo-hhm.jp
- 【HP】 https://www.npo-hhm.jp/
- 【FB】 facebook.com/homehospice.miyazaki/
- 【X】 twitter.com/hhmiyazaki2196
- 【Instagram】 instagram.com/hh\_miyazaki



# 休眠預金活用事業

社会的孤立解消のための事業(重症児、医ケア児の家族及び本人の社会的孤立解消のために)

2021年より実行団体として取り組んでいる「休眠預金活用事業」事業もこの3月で終了します。

この活動の中で、医療的ケア児のご家族の社会的孤立解消のためには、レスパイト施設が増えることが、最も求められているということを改めて知ることができました。

また私たちは、「いつも訪問してくれる看護師さんが見てくれる施設だったら安心だね」という家族会の皆さんの声からも、訪問看護事業所が主体となって開設する福祉型施設のニーズが高いことを再確認しました。

しかし、福祉型の事業所は、同様のケアを提供しても報酬単価が医療型に比べて大変低いという現実があります。

そこで、この事業の中で報酬改定などのための政策提言も行っていくことにしました。

昨年8月には、県議会議員の方などにもご協力いただいて、短期入所や日中一時支援の報酬単価改善に関する要望書を県に提出しました。

定期的で開催している「お薬・健康相談カフェ」「各種体験教室(ヨガ、ウクレレなど)」「ママランチ会」「医療的ケア家族会ミーティング(Pono)」は、今後も継続して実施の予定です。

そして、「つどいけあ」は、病気や障がいがある日々の生活に医療的ケアが必要なお子様やその子をケアしている方々をサポートするウェブサイトです。いつでも匿名で相談できる掲示板やお仕事情報、サポート情報などを発信します。

この「つどいけあ」についてのアンケートでは、これまで「どこで情報を得たら良いか、どこに相談したら良いか」が分からなかったご家族のためのツールとして大変期待されていること分かりました。

これからも改良を重ねて、内容を充実させていく予定です。



<https://tsudoicare.jp>  
「つどいけあ」のウェブサイト



県に要望書提出(TV局の取材)



ママランチ会(多くの参加者でした)



家族会ミーティングPONO



訪問看護ステーションぱりおんが発行しているHALEたちはな新聞でも、休眠預金活用事業の活動の一部が紹介されています。

# 暮らしの保健室だより 特別版

宮崎市恒久にあるホームホスピス宮崎本部事務局には、「暮らしの保健室」があります。ゆるりサロン(介護保険外サロン)や聞き書き勉強会、認知症カフェを実施したり、少人数での講座を開いたり、様々な活動に使われるだけでなく、介護や病气、生活の相談窓口にもなっています。今回は、毎月発行している『暮らしの保健室だより』特別版として、暮らしの保健室での活動をご紹介します。



## ゆるりサロン

毎週月・水曜日10時30分~15時 利用料400円・おやつ代100円  
~お茶を飲みながらゆったり過ごせる地域の皆さまに開かれた場所です~  
体操、パッチワーク、折り紙、トランプ等・・・♪  
一緒に、おしゃべりをしながら楽しく過ごしませんか? どなたでも自由に利用でき、半日利用もOKです。参加ご希望の方は、事務局までお知らせください。  
昼食は各自ご用意いただくか、お弁当(400円)の事前注文もできます。  
ご希望の方は、利用日前日までにお知らせください。



ネイルを楽しんでいます



折り紙で飾りを作りました

## 陽だまりカフェ

毎月第1月曜日と第4土曜日の午後に陽だまりカフェ(認知症カフェ)を開いています。看護師や介護士が常駐し、認知症の方やその家族、地域の方、認知症に関心のある方など、赤ちゃん連れの方や高校生も遊びに来る日もあります。  
内容は、介護相談や認知症予防のためのレクリエーション、終活講座、音楽療法など盛りだくさんです。  
地域包括支援センターからの紹介や屋外の看板を見て訪れる方も増えていますので、皆さんもぜひ遊びにお越しください。  
2024年実施予定日: 1月20日(土)、2月5日(月)※1、2月22日(木)※2、3月4日(月)、3月23日(土) ※1 音楽療法の日です。 ※2 介護教室の日です。  
時間: 13時~15時 できるだけご予約をお願いします。



音楽療法の楽しい時間です



介護教室に高校生も参加

## 聞き書きボランティア

聞き書きを不安なく始められるように、毎月勉強会を開催しています。2023年は、全国各地の聞き書きボランティア仲間が熊本へ久しぶりに集まる「第6回日本聞き書き学校in熊本」へ宮崎から4名が参加しました。熊本地震、コロナ禍、様々な苦難を乗り越えて、やっと実現した熊本開催。天野良平先生の「7ミニッツ聞き書き」や柳田邦男先生の「『超』聞き書き」に加えて、今回参加できなかった小田豊二先生のサプライズ動画メッセージなど、大いに盛り上がりました。全国の仲間からもらった刺激を宮崎へ持ち帰ることができたため、今後の実践に活かしていきます。  
2024年の実施予定日: 1月14日、2月18日、3月10日(予定) 10時~12時  
勉強会へ参加ご希望の方は、事務局まで事前にお電話ください。



柳田先生と市原理事長の2ショット



天野良平先生の講義  
小田先生のサプライズメッセージ

## ボランティア活動再開!

コロナ禍でお休みしていた「患者らいぶらり」(古賀総合病院図書ボランティア)が再開しました。(毎月第3木曜日の14時~16時)  
病院から再開を希望する連絡があり、3年も整理できていなかった本棚がどうなっているのか不安を抱えて見に行ったところ、とても整頓されていて、今も借りてくださっている方々の記録がノートにピシッリ書いてありました。  
再開を諦めかけていたところでしたが、その様子を見て、「これは再開しなくては!」という気持ちになりました。休止前のボランティアさんにお声掛けしたところ、協力していただけたのお返事があり、とてもありがたく思いました。また、市民活動センターからの新規ボランティアさんの紹介もあり、新しい仲間と共にならばいいのではないかと考えています。



貸し出しノートの整理



担当の峰さん

一緒にボランティアしませんか?



## こんなボランティアを募集しています!

- ゆるりサロン(暮らしの保健室)で、週1回 利用者さんのサポートをしながら一緒に楽しく過ごします。
- 患者らいぶらり(古賀総合病院)で、月1回2時間程度 本の整理と管理をします。

## 映画上映会

宮崎市在宅療養  
相談支援事業

**2023年11月11日(土)**  
宮崎キネマ館にて、映画「ぼけますから、よろしくお母さん。~おかえりお母さん~」の上映会を開催しました。  
会場には、多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。  
かわいらしいお母さんと、優しくユーモアたっぷりのお父さんの生活をのぞき見しているような気分で、認知症の症状がみられるようになってきた時のお母さんご自身の不安や家族の対応、入院も毎日歩いてお見舞いに行くお父さんの姿...  
胸の奥が締め結められるような場面もありましたが、家族愛いっぱいの素敵な映画でした。  
参加された方からは、「とてもいい映画だった。まだお父さんはお元気なのかしら」「上映会をしてくれてありがとう」など、様々な感想をいただきました。

**映画上映会**  
2023年11月11日(土)  
開演 17:30 (入場 17:00~)  
宮崎キネマ館 100席 (定)

## 在宅療養相談窓口

在宅生活の悩みや、介護、医療に関する疑問など、様々な相談が寄せられます。  
お電話での相談の他、ゆっくりと時間と設けて暮らしの保健室でお話をしたり、関係機関をご紹介することもできます。  
ご心配なことなどございましたら、一度お電話ください。

**相談専用電話 0985-67-5003**  
(月~金 午前10時~午後5時)



## 宮崎市在宅療養相談支援事業

- 例えば...
  - ・病院ではもうできる治療がないと言われたが、退院しても大丈夫だろうか...
  - ・医療依存度が高いが、家に連れて帰りたい...
  - ・がんが進行して痛みを併せているが、自宅で生活できるだろうか...
  - ・在宅療養は家族にどれくらいの負担があるのだろうか...
  - ・何かあったときには、誰かが助けてくれるのだろうか...
  - ・家族が介護する自信がない...在宅で大丈夫だろうか...